

第2回飯山市環境審議会次第 顛末

日時 平成23年6月30日(木) 午前10時

場所 飯山市役所3階 31号会議室

委員総数 14名 出席 11名 審議会成立 (欠席) 3名

1 開 会 (事務局) 3名の方、都合がつかず欠席。開始時刻より少し早いですが全員ご参集なのでこれより第2回審議会を開催。

2 審 議 (上原会長あいさつ・議事進行)

暑い中ご苦労様。昨日は栄村で震度2、今日は松本で震度5と、地震がつづいている。

環境にも地震、放射能といろいろな部分が変わって、複雑で広範囲に考えないといけないことになっており、考慮しながら進めていかななくてはならないと思っている。よろしく願いたい。

(1) 震災後の意識変化にかかわる市民アンケートについて

(事務局) 前回の審議会で、震災前の1月～2月にかけて取ったアンケート結果を示したが、震災前と震災後では意識がだいぶ違うだろうということで、そのところを反映させるため、市民アンケートを再度取るべきか否か、取る場合はどんな形で、どうすればいいかという部分について意見を伺いたく、提案させていただいた。

(会長) 震災前に1回取ったが、震災後意識がどう変わったかということ、もう一度アンケートを取ることで、変化がどうなっているかということについて、意見をいただきたいと思う。

(事務局) 今日審議いただきたいことは、意識変化をみるためのアンケートをやるか、やらないかと、やるとすれば、内容は全く同じものでやるのか、そこに震災関連の質問をプラスするのか、前回取った内容の内、意識変化を知りたい部分だけ抽出してやるのか、そういった部分を審議していただきたい。

(会長) まずはアンケートをやったほうがいいかどうか、その辺のところについて意見を。

(委員) 取っておいたほうがいい。前回1,000人とのことだが、統計的には100人ぐらいランダムサンプリングあれば大体の傾向をつかめる。可能であればミニマム100ぐらいで計画されては？それと当然だが、放射能とか津波、水害関係いったところはアンケート追加すべきだと思う。

(委員) 昨日の新聞に刈羽原発の危険区域10kmから50kmに想定範囲が広がるという報道があった。その中に栄村と飯山市の一部が入るということで、そんな観点で、特に震災より原発がらみで市民の意識がかなり変化していると思う。私もとる必要があると思う。

(会長) 震災だけでなく、柏崎の原発が飯山市の近くにあり、その50km範囲に飯山も入っているからそれも含めて取ったほうがいいのでは、という意見だが。

(委員) 原子力発電関連については、意識調査をしていなかったと思うので、そこを重点的にすればと思う。後は何のためにやるのかというのが大事だと思う。その結果によって計画が変わるようであればやるべきと。

(委員) 私もぜひやっていただきたいと思う。いずれにしてもこれだけ大きなことがあって、しかも余震があり、近くに柏崎の原発があるということ。地震は本来、基本的に日本中いつでも起きてても不思議でないし、これだけ大きな動きがあれば余震は当然続くわけで、そういう意味では緊張感を持って生活していかなければいけないと思う。しかし日々の生活に追われていると、放射能の問題にしてもなかなかそちらへ気持ちが向かないで生活をしているわけで、改めてアンケートをとることによって、そういう問題を身近な問題として考えてもらえるのではと思う。対象の人数が前回1,000人対象としてどのぐらい回答を得たのか。

(事務局) 45%程度。再度アンケートを取るとすれば、事務局案としては 500 人に出せば 230~240 の回答を想定。委員さんからあったように 100 以上の回答が取れば、意識として捉えることができるものと思うが。

(委員) 回答率 50%弱ということなら対象 100 人だと 50 ぐらいになってしまうので、大変だが 500 人に出して、220 ぐらいの回答を得られればいいのでは。

(委員) ちょっと質問だが、前回と同じ方に出すのか、それとも違う方に出すのか。

(事務局) 同じ人に出すと、「前回回答した」と言われる可能性がある。ただ震災・放射能・新エネルギーについて等だったら答えてくれると思う。前のものと比較するために、元の設問を出すとしたら、できれば違う人のほうがいい。今度の人は震災関連だとかを加えて少し量が多くなるが、そういう形で回答してもらう方が良く事務局では考えている。例えば区長会に依頼して区へ下ろして区から回答を得るという方法も。ただ環境意識がどう変わったかというのを統計的に見たいので、個々で無作為抽出して最低 200~300 人ぐらいから回答を回収するというのが基本かと思うが。

(会長) まず、やるかやらないかは「やる」ということでいいか。

(委員一同) はい。

(会長) では対象の人数について、100 人という意見、500 人という意見があるが、いかがか。

(委員) 有効回答で 100 は最低ほしいんで、回収率を考えれば 500 人で。

(会長) 前回 1,000 人、今回は 500 人でどうかと、回収率は約 50%という結果から見ると、500 人でいいか。

(委員一同) 了承

(会長) あとは項目をどうするかですが、震災や原発関連のものをやるか、前回のものに加えてやるのかなど、アンケートの中身はどういう風にしたらいいか。前回取った時期は、出すほうも書くほうも震災は想定していなかったということで、今回は震災後のことを聞く内容となると思うが。

(委員) やはり何のためにやるか、というのが非常に重要だと思う。例えば、同じような設問して震災前よりいろんな部分での環境意識が高まっていたら、それで計画が変わるのか？原子力発電とか、エネルギー政策とかそういうことについて設問を絞るのであれば、今回の震災を受けて市民がどういうことを考えているのかを区長さんを通して意見集約するとか、一番いいのは区長さんに聞くとか、市報に 1 枚入れてできるだけ広範囲に意見を集めてみてはどうかと思う。何のためにやってその結果をどう生かすかによってやり方が違うと思う。

(委員) 今回の内容を見ると、震災前後で変わるような項目があるかを見ると、変わらない方が多いのではないかと思う。変わる部分はあると思うが、やっぱり目的が大事だと思う。

(委員) 今回震災前と後の変化を見ることなので、やはり設問も前回と関連付けた方が、変化がわかると思う。前回の内容も含めて新たに震災関連の設問を設けてアンケートをとった方がいい。その中でも特に放射能とかそういう内容も入れれば回収率が上がると思う。

(会長) いま委員さんが言ったとおり、特に震災の前と後で変化がある項目と関係のない項目がだいぶ入っているような気がする。この中から、関係する項目を選びそこへ新たに震災に関連する項目を付け加えるという形でいかがか。事務局はそういう形は可能か？

(事務局) 前回配布のアンケート設問用紙を見て、1 つずつ「いる」「いない」を審議していただければ。問 7 までの職業・その他を除く、実質、問 8 から問 15 までが設問なので、その設問について審議いただければ。

(会長) 5 ページの問 11 あたりが一番関連するところか。

(委員) ここでしょかね。

(事務局) 問 10 も設問の仕方によっては、前回と変わっているかもしれない。「震災後…」など誘導も必要かもしれないが。

(委員) 問 9～11 ですか。

(事務局) 問 8 はのぞいて問 9～11 のところで「震災後」というのをわかるようにして取る形でいかがか。自由意見でもいろいろなものが出てくるのでは。そういう風にまとめさせていただければ。あと、地震・放射能関係の設問を問 9～11 に入れ込んでいくか、別項目にするかというのはいかがか。

(委員) 別にして作った方がより前後の比較が明確になるような気がするが。

(会長) 他にご意見は。

(会長) 地震・放射能関係は別の項目ということで。

(委員全員) 了承。

(会長) さっき市報折込という意見があったが。

(事務局) 市報に折り込んでしまうと、そのまま捨てられてしまう可能性もあり、直接受け取れば 2 人に 1 人は見てくれて、震災の内容であれば関心も持ってもらえるのではないかと思う。直接送付する形で実施したい。アンケートの内容は事務局で詰めて、できたものを来月の審議会で確認していただいて、その後対象者に送付し、回答はお盆ごろまでに出してもらおうスケジュールでいかがか。

(会長) いいですか。

(委員全員) 了承。

(会長) もし可能なら事務局にお任せして少しでも早く出してもらえば・・・。

(事務局) 今日の会議のてん末同様、事前に送付するので確認していただければと。

◎震災後の意識変化にかかわる市民アンケートについては実施する

- ・規模 市民 500 人 (回収率 50%弱 220～230 人分回収を目指す)
- ・時期 7 月末発送し盆前に回収、分析作業を 8 月末目指して行う
- ・内容 震災(地震・水害)・原発・放射能の項目を前回アンケートに追加する。

(2) 環境の現状に関する検証、望ましい環境像実現に向けた提言

(会長) では、2 番の環境の現状に関する検証、望ましい環境像実現に向けた提言に入ります

〈事務局資料説明〉2-1 の資料は環境指標がほぼまとまったので、先に送付の途中経過資料との差し替いを、資料 2-2、2-3 は 2 人の委員さんから事前に提言をいただいている分を記載しあるので、先に送付分との差し替いをいただき、本日の審議をお願いしたい。他に「自治体法務研究」と書いてある A3 版 2 つ折りの資料は委員より広島県北広島町という人口 2 万人程度の中山間地の飯山市に近い環境にある町で、生物多様性に関する条例が作られた事例の記事の写し。それと一緒に挟んである A4 版の資料は委員から環境に関する参考図書を紹介いただいたもの。

〈事務局 審議方法の説明〉前回示したスケジュール表のとおり、庁内関係課からのデータ・指標を基に、第 2 章の現状の分析から入り、そのチェックと合わせて分野ごとの提言シートに記載してある項目を目安に 10 年後の望ましい環境について、概念的なことを出していきたい。それを事務局でまとめて庁内各課に「審議会からの提言」として伝え、各課で 10 年後の目指す計画素案を作り、次の審議会へ提示するので、それを再度審議し、再提言を各課へ伝え、最終的な方策・計画案にしたものを、もう一度審議してまとめるものとした。よって次回からは次のテーマの検証・提言に加え、各課から戻された計画の概要についても審議となるため、大変な作業になるので、できるだけ早い時期の事前資料配布をするようにするので、よろしくをお願いしたい。また、最終的な本基本計画の形は、1 次の計画は、第 2 章と第 5 章の部分の「つくり」において多少分野がずれたり、まとめてあったりするの

で、今回はできるだけ第2章と第5章の分野が一致するようにまとめたいと考える。

本日審議の資料2-2、2-3は、第1次基本計画書の第2章の第1節と第5節について検討・提言いただくためのもの。現在の環境にはこんな問題があるので、こうしたらどうか、こうすべきではといった提言を出していただきたい。

資料2-1の達成度の見方について、○は22年度現在で目標値に達成したもの、△は12年度よりは向上しているもの、×は同じか後退したもの。環境指標の詳細・分析資料はないが、資料2-2、2-3の左欄が現行計画記載事項なので、右欄に2次基本計画に記載すべき事として、資料2-1を参考にしながら現計画の内容を検討して提言をいただきたい。

・第2章第1節 自然環境

- 1-1 気象
- 1-2 地形
- 1-3 (1) 植生
- 1-3 (2) 自然保護
- 1-3 (3) 天然記念物
- 1-3 (4) 鳥獣保護
- 1-4 (1) 河川
- 1-4 (2) 湖沼
- 1-5 地下水

資料2-2 現状分析シートに検討内容、提言を記載

・第2章第5節 地球環境問題

- 5-1 地球温暖化の防止
- 5-2 オゾン層の保護
- 5-3 酸性雨の防止

資料2-3 現状分析シートに検討内容、提言を記載

(3) その他

(事務局) 今日審議いただかないが、放射能の問題について、計画に元からある地球環境問題や生活環境などの項目に入れか、別項目起こすかも含め考えていただきたい。

(委員) 書籍の紹介。先日、市民と行政が協働でゴミ減量に取り組み、全国で初めてレジ袋を廃止する取り組みも行った町田市へ視察に行った。その町田市のごみ減量取り組みをまとめた「ごみ0への道」という書籍があるので読んでみてほしい。先ほど委員さんの話があったとおり、環境教育は大事だと思う。純粋な子どもの素直な心には入っていくと思うので、小さいときからの環境教育は大事だと思う。

(委員) ごみが減らないということで、モニターを選んで結果を出すというのはいかがか。結果が見えないと先に進まないような気がする。結果を見ていくことで日々の生活が見直されていくと思うので、モニター制度をやっていただくといいと思う。毎週燃えるゴミ1袋出していたが、行動することでこんなに減ったと、そういうのが見えてこないと前には進まない。またマイバッグを全市民に配布してはどうか。ノーレジ袋・マイバッグはホームセンターやコンビニにも広げたい。お店側の店員さんの教育も大事。

(会長) 私たち農家は生ごみをみんな畑に入れてしまうけど、そうじゃない人は処分に困るね。

(委員) ポカシから始まって、生ごみはいろいろやってきた。一番簡単な方法は私にとっては土に入れること。

夏場は1週間で土に戻る。段ボール堆肥は私にとってはちょっと面倒で。手軽にできないので。

(事務局) 分別推進月間を5月から、先日太田地区民宿街で水切りが悪いため平均20個ずつぐらい置いていかれた。残飯を1つの水切りバケツに全部入れないように、食品衛生協会等通して固形物は固形物、汁物は汁物、というように分けるように、最初から水を含ませないことようにと話をしている。できれば畑に入れられるものは入れるようお願いしているが、民宿のようにたくさん出ると入れきれないということ。ハクビシン・タヌキが掻き回すという問題もある。モニター制度も必要だと思う。昨年、モデル地区として上倉区で取り組んでいただき、300戸ぐらい講習会を受講していただき、今までステーションからはみ出していたごみが収まるようになったという結果も。大きな集落にやっていただくと効果も大きい。モニター制度については検討する。マイバッグの配布については、水切りバケツ配布などの提案もあり、ごみ減量推進委員さんも含めて検討させていただきたい。

(委員) 推薦図書について、お配りした資料の上の2冊は日本の女性でアマゾンの熱帯雨林を守るために命がけで活動されている方の著書。もう1冊は皆さんご存知のりんごを無農薬・無肥料で育てた方の著書。農薬も環境を考えると無農薬のほうがいいと思う。そのほか、原発関連、環境、エネルギー関係の本を持ってきたので、興味あればご覧いただきたい。それから皆さんの方で読まれて参考になるとか勉強になる本があればご紹介を。

(事務局) 皆さんの方に飯山市第4次総合計画の冊子をお配りしたので、参考にさせていただければ。また次回の審議会ですが、前回の審議会でも、毎月最終木曜と決定いただき、7月28日(木)10時からと決まっているので、よろしく願いしたい。また皆さんのお手元にお持ちの資料で、参考になるものがあれば、提供いただければ。

3 閉 会 (会長) 長時間ありがとうございました。